



岡山県内経済情勢報告

令和7年11月6日

財務省中国財務局

岡山財務事務所

本調査にかかるお問い合わせ先
財務省中国財務局岡山財務事務所
財務課長 上石
TEL (086) 223-1131 内線 411

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある」

項 目	前回（7 年 7 月判断）	今回（7 年 10 月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	一部に弱さがみられるものの、 緩やかに回復しつつある	

（注）7 年 10 月判断は、前回 7 年 7 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある中、一部に弱さがみられる。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

【各項目の判断】

項 目	前回（7 年 7 月判断）	今回（7 年 10 月判断）	前回比較
-----	---------------	----------------	------

個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある中、 一部に弱さがみられる	
雇用情勢	緩やかに改善しつつある	緩やかに改善しつつある	

設備投資	7 年度は前年度を上回る見込み	7 年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	7 年度は減益見込み	7 年度は減益見込み	
企業の 景況感	「下降」超に転じている	「下降」超幅が拡大している	
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	
輸出	前年を下回っている	前年を下回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、物価上昇の継続、米国の通商政策、金融資本市場の変動等の影響に注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店・スーパー販売は、商品単価の上昇に加え、季節イベントの需要が好調なことから前年を上回っている。コンビニエンスストア販売は、お手頃感のあるおにぎりなどが好調なことから前年を上回っている。家電大型専門店販売は、エアコン需要の反動減などから前年を下回っている。ドラッグストア販売は、商品価格の上昇から買い控えがみられるものの、新規出店効果などにより前年を上回っている。ホームセンター販売は、酷暑による客数の減少や前年 8 月の南海トラフ地震の臨時情報の発令などで防災用品が売れたことの反動から前年を下回っている。乗用車販売は、前年を下回っている。

このように、個人消費は、緩やかに回復しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 街全体にインバウンドも含めた旅行者が多かったこともあり、来店客数が増加した。また、消費者の節約志向が継続する中、高単価商品の多い物産展が好調であるなど、消費するものと節約するものを選択しながら購入に至る「メリハリ消費」の流れは続いている。(百貨店)
- 物価高の影響から生活防衛意識による節約志向は継続しているものの、夏休みやお盆などの人の集まる機会には、寿司や総菜などの需要が好調だった。(スーパー)
- 来店客数は減少傾向であるが、価格転嫁により客単価が上昇傾向であるため、売上は増加している。また、引き続き、お手頃感のあるおにぎりやパンが好調となっている。(コンビニエンスストア)
- 来店客数は、既存店で、節約志向や物価高による買い控えなどにより前年を下回っているものの、全店では、新規出店効果などにより前年を上回っている。(ドラッグストア)
- 商品値上げによる客単価上昇はあるものの、物価高による節約志向がより強まっている。8 月は、昨年、南海トラフ地震臨時情報の発令や月末の台風の襲来で防災関連用品がよく売れた反動がみられる。(ホームセンター)
- 昨年と比較すると台風の影響も無く、商品価格の値上げや旅行などに伴う来店客数の増加により売上が増加している。お土産物等販売は、価格で選別することなく購入する動きが見受けられる。ファジアーノ岡山のホームゲーム開催日やインターハイ開催中は、売上が大きく増加している。(専門店)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある中、一部に弱さがみられる」

輸送機械は、造船で豊富な受注残を抱えているものの、自動車が増少していることから、減少している。化学は、国内外の需要が引き続き弱めな中、定期修理などの影響もあり減少している。汎用・生産用・業務用機械は、需要が堅調に推移している。電気機械は、需要が底堅く、概ね横ばいとなっている。鉄鋼は、建設需要が低調なものの、概ね横ばいとなっている。

このように、生産活動は、緩やかに持ち直しつつある中、一部に弱さが見られる。

- 過去に建造した船舶の更新や、環境対応のための新造船需要などにより豊富な受注残を抱えている。(造船)
- 10 月以降は、米国関税の影響が落ち着き、メーカーからの受注が増加する見通し。(自動車)
- 安価な海外産の流入や脱プラスチックの動きから国内外の需要が引き続き弱めで推移している中、定期修理などの影響もあり、生産量は減少している。(化学)
- 需要は底堅く、生産量は概ね横ばいで推移している。(電気機械)
- 資材価格の高騰や人手不足などから、建設需要が低調となっており、建築向け鋼材の需要が伸び悩んでいる。(鉄鋼)

■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

新規求人数が前年を下回ったものの、有効求人倍率は高水準で推移している。また、企業の人手不足感は、法人企業景気予測調査（7年7-9月期）の従業員数判断 BSI でみると、「不足気味」超が続いている。このように、雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

- 人件費の高騰などにより介護施設や小売等で求人数を精査する動きや、インバウンド対応のため宿泊施設等で外国人採用を強化する動きが見られ、求人が減少しているものの、有効求人倍率は高水準で推移している。（職業紹介）
- 高齢従業員割合が高まる中、求人募集を行っているが、応募状況は芳しくなく、従業員の若返りが図れていない。（石油・石炭）

■ 設備投資 「7年度は前年度を上回る見込み」（全産業）「法人企業景気予測調査」7年7-9月期

- 製造業では、前年度の大型投資の反動により化学などで減少見込みとなるものの、計画的な更新や生産能力増強のための新設により食料品や情報通信機械などで増加見込みとなっている。
- 非製造業では、前年度の大型投資の反動により不動産などで減少見込みとなるものの、店舗の新設や改装により金融・保険や小売などで増加見込みとなっている。

- 需要の増加に伴い、生産能力増強の設備投資を予定している。（食料品）
- 多くの設備の更新時期にあたるため、更新費用の増加が見込まれている。（情報通信機械）
- 老朽化した大型設備の更新を予定している。（パルプ・紙・紙加工品）
- 店舗の建替えを行うほか、業務システムの更新期となっている。（金融・保険）
- 投資計画の一部を先送りしたものの、新規出店や既存店の改装のほか、顧客の利便性向上に向けたシステムの導入を予定している。（小売）
- 新規出店のほか、物価高による改装経費の増加を見込んでいる。（宿泊、飲食サービス）
- 業務管理強化のため、車両付属機器を更新する追加投資を行うこととした。（運輸、郵便）
- 利益の状況を見ながら、一部の更新投資の実施を先送りしている。（建設）

■ 企業収益 「7年度は減益見込み」（全産業）「法人企業景気予測調査」7年7-9月期

- 製造業では、販売価格の上昇などにより金属製品などで増益見込みとなるものの、燃料費などの増加により化学や、受注の減少により情報通信機械などで減益見込みとなっている。
- 非製造業では、料金改定などにより宿泊、飲食サービスなどで増益見込みとなるものの、需要の減少により鉱業等や、人件費などが上昇している情報通信などで減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が拡大している」（全産業）「法人企業景気予測調査」7年7-9月期

- 企業の景況判断 BSI は、「下降」超幅が拡大している。なお、翌期は「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数でみると、持家や分譲住宅などが減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を下回っている」

- 輸出は、品目別では、石油製品や化学製品などが減少していることから、前年を下回っている。なお、地域別では、アジアなどで前年を下回っている。

岡山県内経済情勢報告

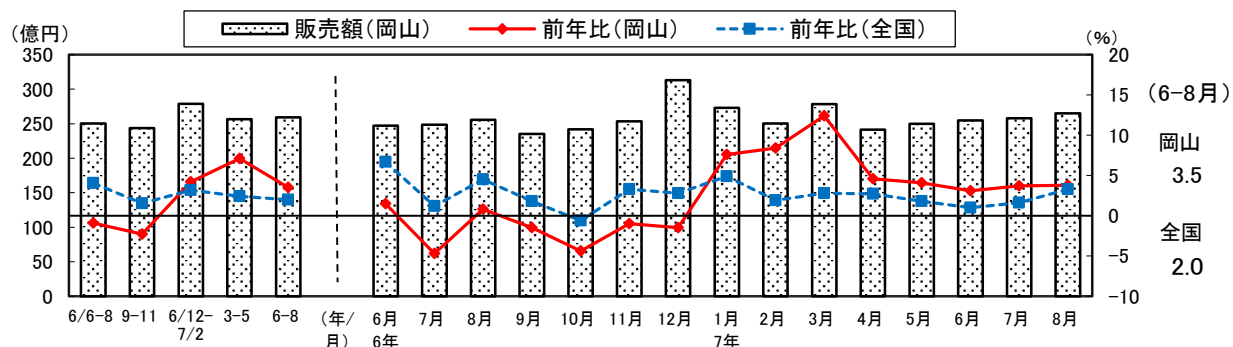
資料編

目次	ページ
1. 個人消費.....	1
2. 生産活動.....	3
3. 雇用情勢.....	4
4. 設備投資.....	5
5. 企業収益.....	5
6. 企業の景況感.....	5
7. 住宅建設.....	6
8. 輸 出.....	6

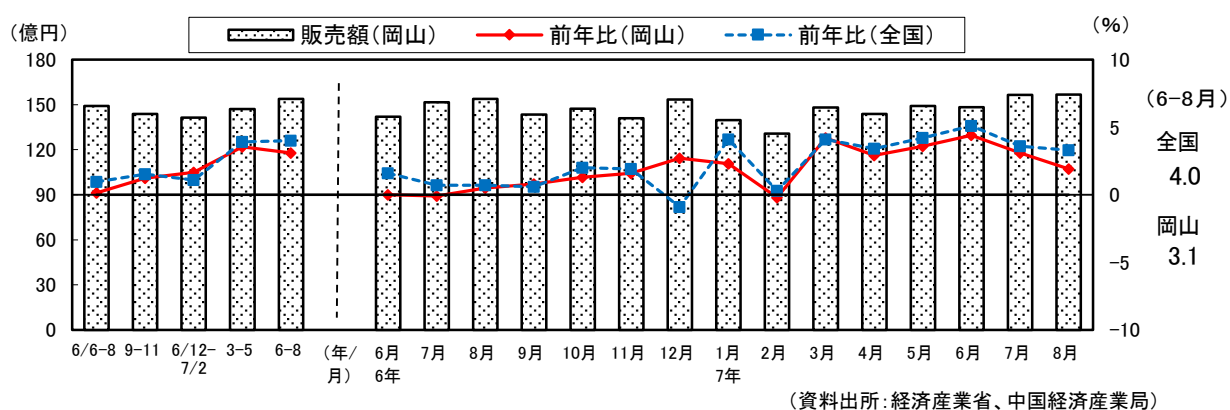
※グラフの外枠（右側）に記載している計数は、各項目の状況を分析する上で参考とした前年比、指数、倍率。

1.個人消費 緩やかに回復しつつある

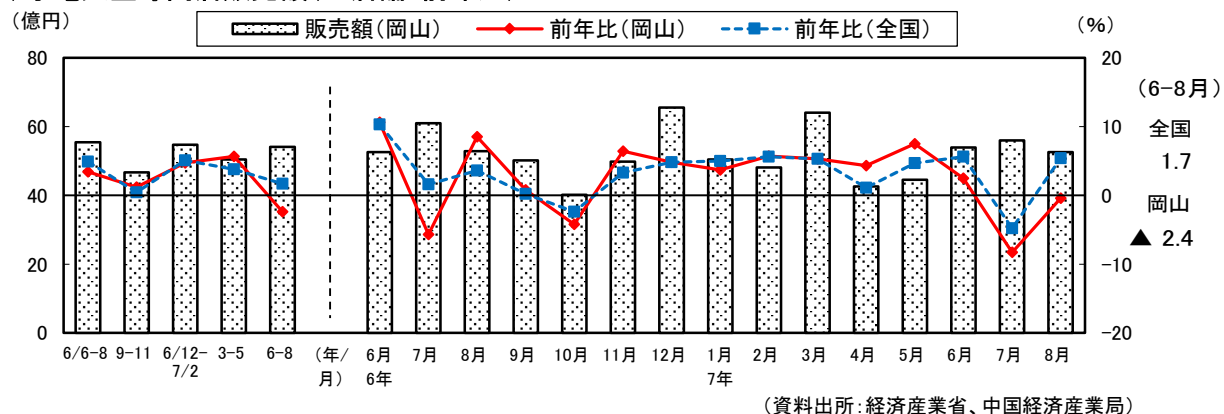
(1)百貨店・スーパー販売額(全店舗:前年比) (注)(1)~(5)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均



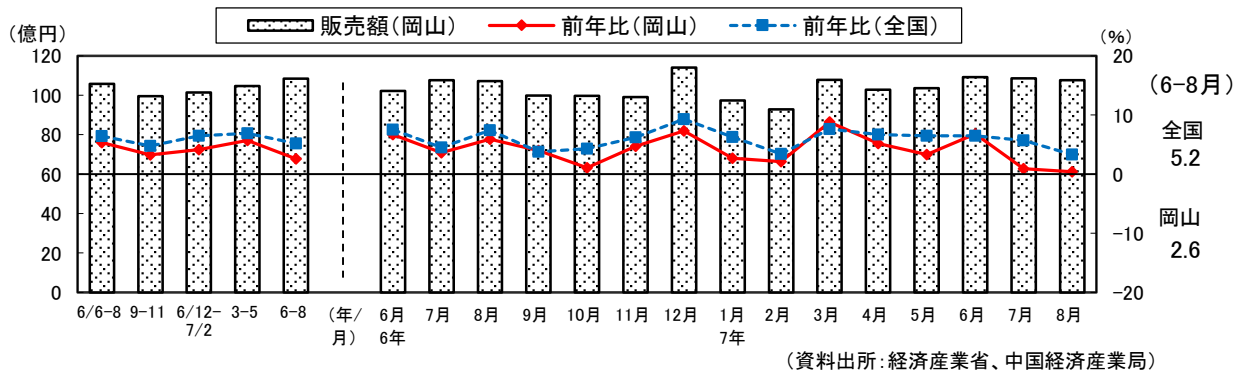
(2)コンビニエンスストア販売額(全店舗:前年比)



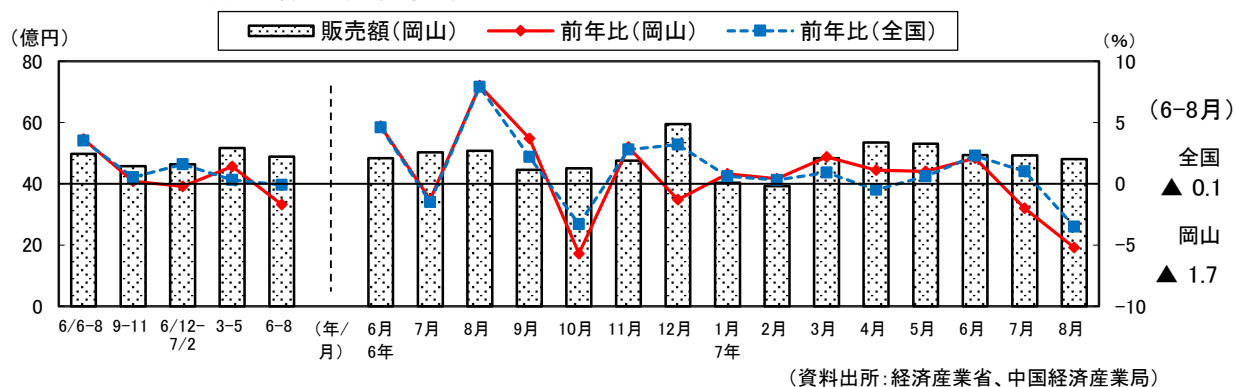
(3)家電大型専門店販売額(全店舗:前年比)



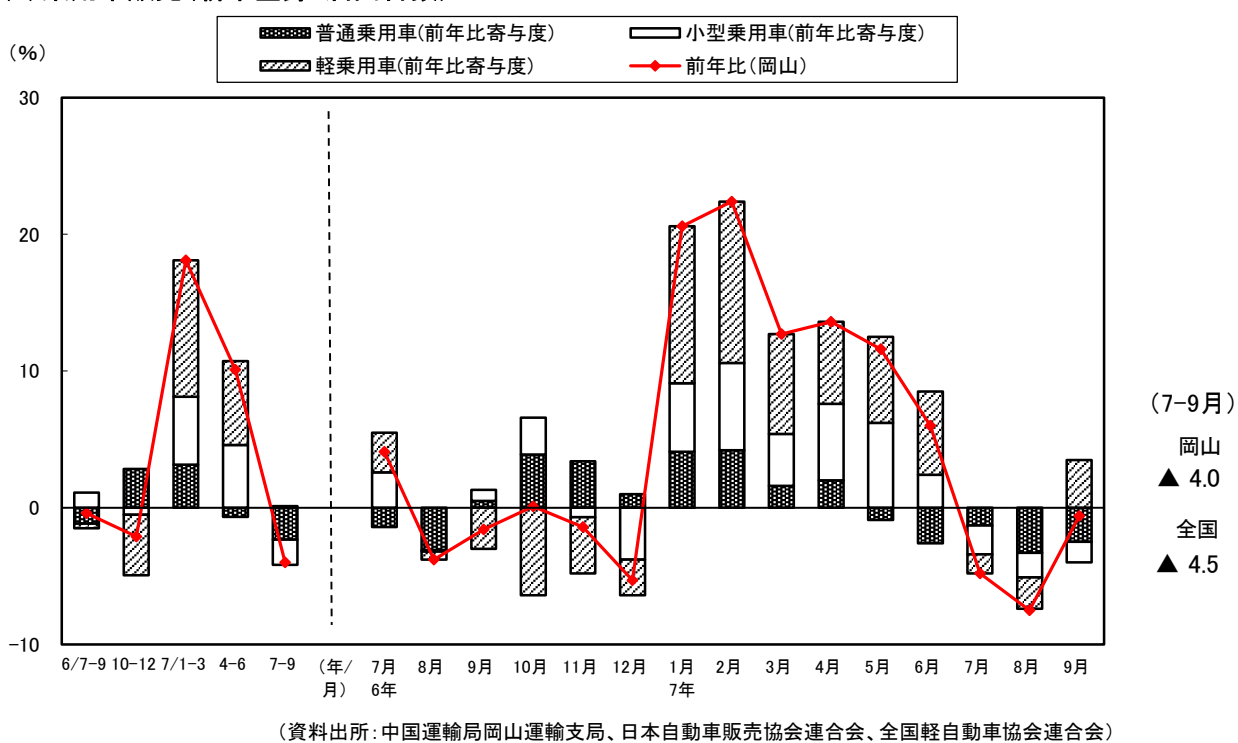
(4)ドラッグストア販売額(全店舗:前年比)



(5) ホームセンター販売額(全店舗:前年比)



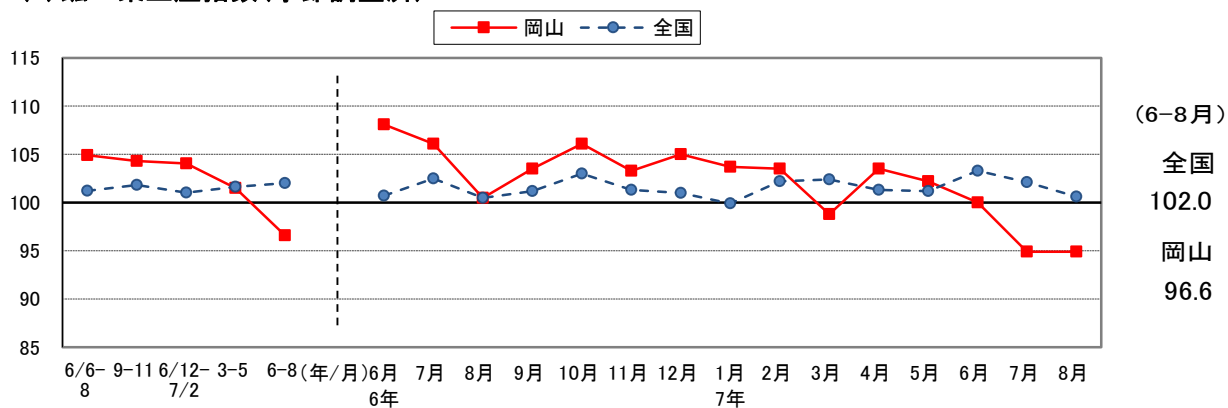
(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



2.生産活動 緩やかに持ち直しつつある中、一部に弱さがみられる

(1) 鉱工業生産指数(季節調整済)

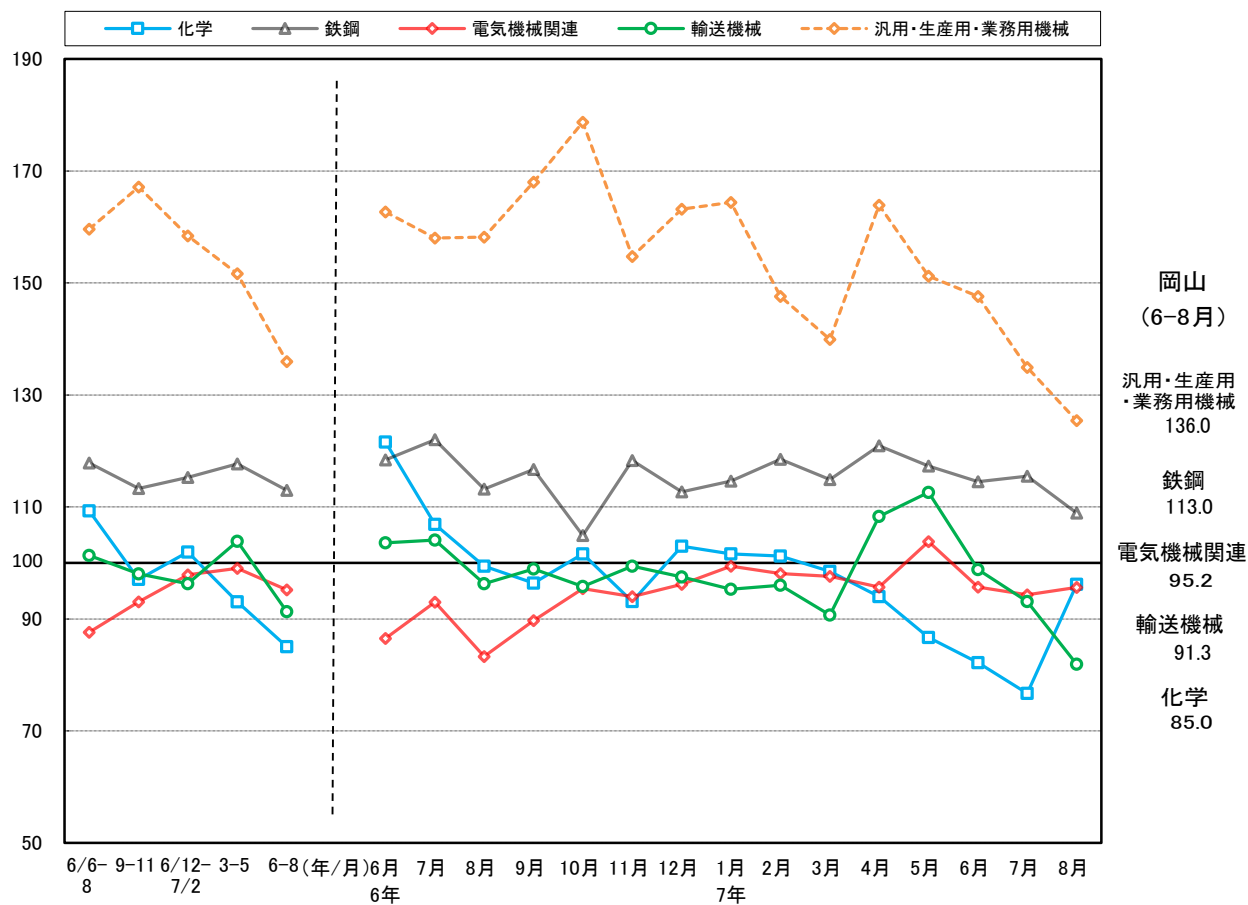
(指数)(令和2年=100)



(資料出所: 経済産業省、岡山県)

(2) 主要産業別生産指数(季節調整済)

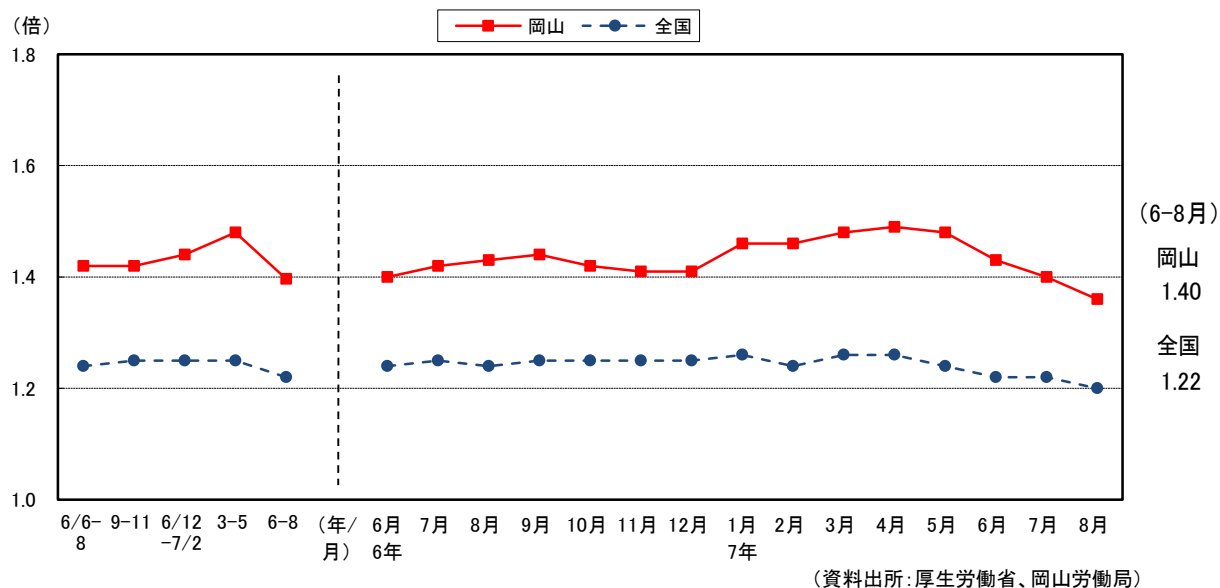
(指数)(令和2年=100)



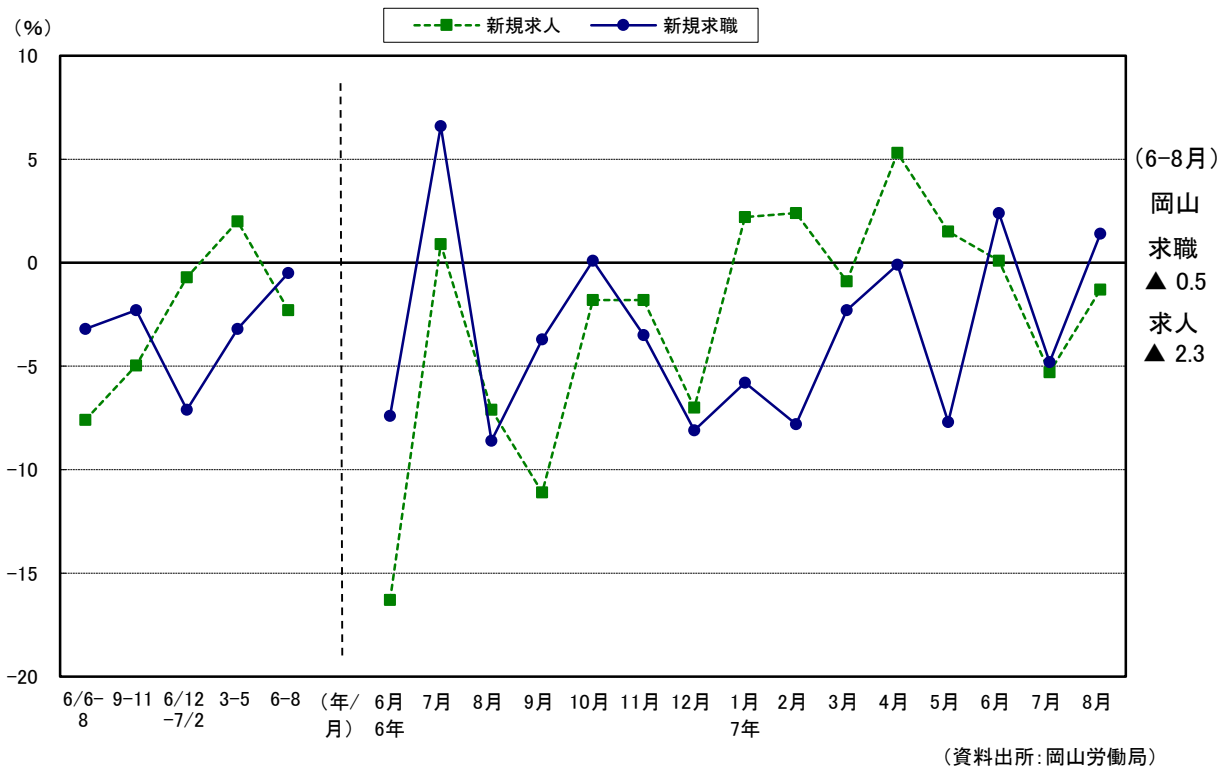
(資料出所: 岡山県)

3.雇用情勢 緩やかに改善しつつある

(1)有効求人倍率(学卒を除く、季節調整値)



(2)新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



4.設備投資(除く土地、含むソフトウェア投資) 7年度は前年度を上回る見込み

(前年度比増減率:%)

設備投資	全産業		製造業		非製造業	
7年度	(26.9)	23.0	(20.9)	18.0	(74.6)	37.9

(注)当所法人企業景気予測調査(7年7～9月期)結果
()書きは前回(7年4～6月期)調査結果

(資料出所:岡山財務事務所)

5.企業収益(電気・ガス・水道業及び金融業・保険業を除く) 7年度は減益見込み

(前年度比増減率:%)

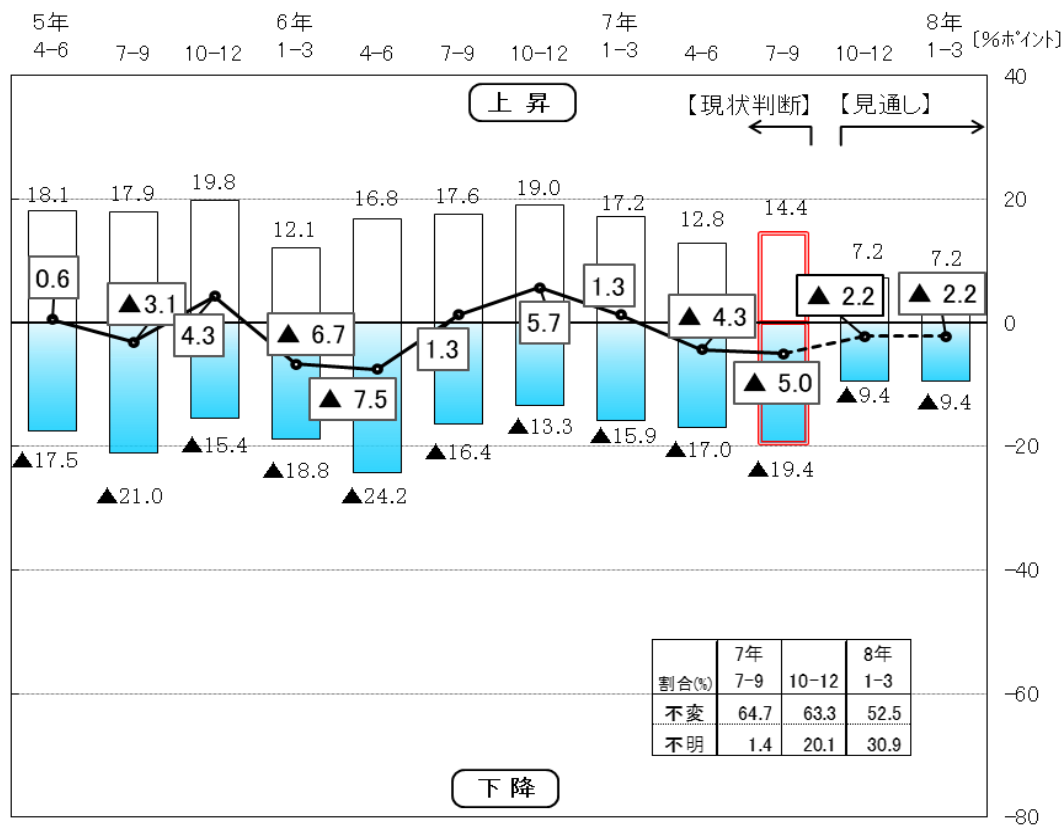
経常利益	全産業		製造業		非製造業	
7年度	(▲30.6)	▲ 48.7	(▲32.5)	▲ 60.7	(▲18.1)	▲ 16.5

(注)当所法人企業景気予測調査(7年7～9月期)結果
()書きは前回(7年4～6月期)調査結果

(資料出所:岡山財務事務所)

6.企業の景況感 「下降」超幅が拡大している

景況判断BSIの推移(原数値)(BSI:前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

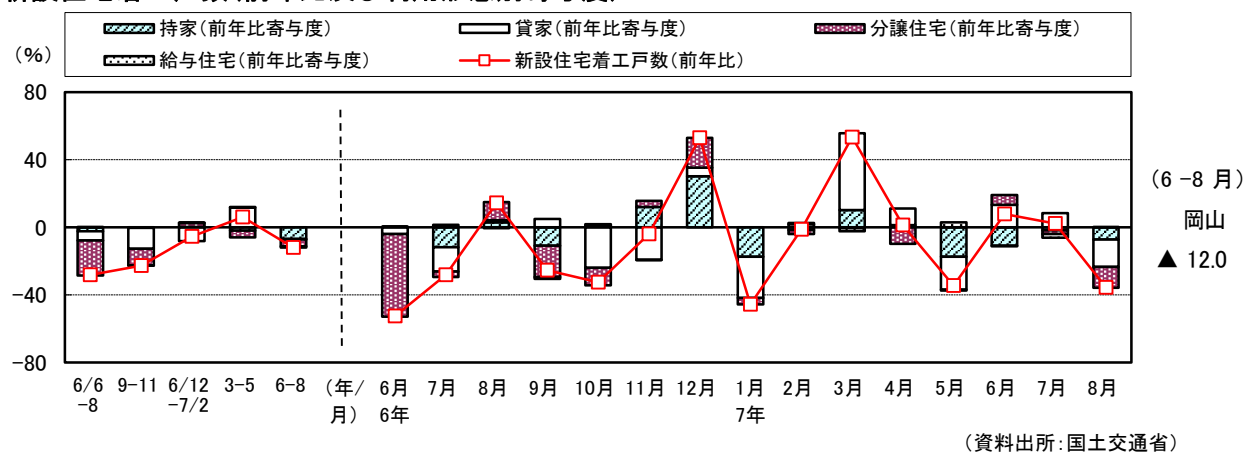


(注)当所法人企業景気予測調査(7年7～9月期)結果

(資料出所:岡山財務事務所)

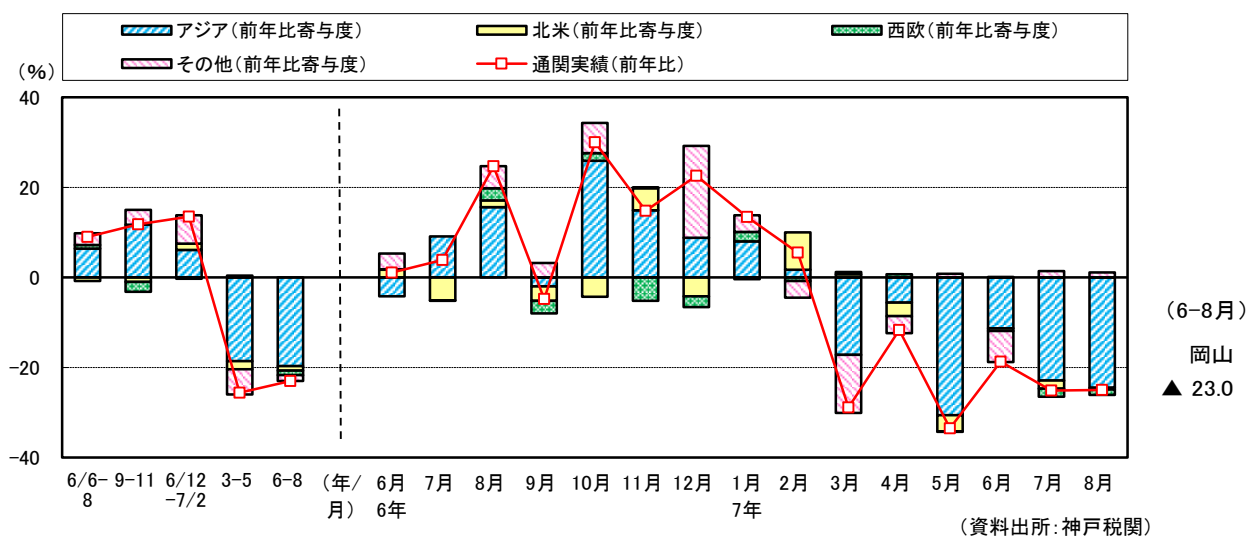
7.住宅建設 前年を下回っている

新設住宅着工戸数(前年比及び利用形態別寄与度)



8.輸出 前年を下回っている

輸出(円ベース)



<参考>

輸入(円ベース)

